

# 令和4年度一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター  
農林センター 茶業研究所

## 1. 摘採日

仕立て法	2022年	2021年	前5か年	平年
自然仕立て	5月4日	5月4日	5月 6日	5月 6日
弧状仕立て	5月4日	5月4日	5月 3日	5月 6日

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	660.2 ± 55.6	106	858.8 ± 110.5	137	625.5 ± 71.0	100
弧状仕立て	267.0 ± 40.7	84	203.2 ± 19.0	64	316.2 ± 71.6	100

○指数は前5か年平均を100とした場合の比

## 3. 百芽重 (g)

3. 百芽重(g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	百芽重	指数	百芽重	指数	百芽重	指数
自然仕立て	62.8 ± 14.5	106	65.1 ± 2.9	110	59.1 ± 7.7	100
弧状仕立て	57.3 ± 5.7	117	52.8 ± 8.0	108	49.1 ± 9.9	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	457.8 ± 53.9	103	628.6 ± 47.4	141	445.6 ± 82.4	100
弧状仕立て	1245.0 ± 261.0	101	1181.7 ± 190.1	96	1236.0 ± 320.6	100

○自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

## 5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	71.9	60.2	46.0
弧状仕立て	82.8	21.6	60.8

## 6. 概要

### (1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園では、前5か年平均より2日早い5月4日、弧状仕立て園では、前5か年平均より1日遅い5月4日となった。

### (2) 生葉収量

自然仕立て園の生葉収量は、前5か年平均並み(指数106)、弧状仕立て園では前5か年平均と比べてやや少なかった(指数84)。弧状仕立ての百芽重が前5か年平均と比べて大きかった(指数117)ことは、高温により生育が早く進んだことが一因と考えられる。

### (3) 病害虫の発生状況

当所におけるフェロモントラップによる越冬世代の誘殺状況は、チャホソガの誘殺盛期は平年よりやや早く4月第2半旬(平年は4月第4半旬)であり、誘殺数は3月～5月第6半旬で平年より少なかった(平年比54.9%)。チャノコカクモンハマキの誘殺盛期は平年より早く4月第5半旬(平年は5月第2半旬)であり、誘殺数は3月～5月第6半旬で平年より少なかった(平年比38.2%)。

### (4) 茶市場の出荷状況

5月23日現在の全農京都茶市場への出荷量は、対前年度同回までの累計比で、てん茶が250%、揉み茶が160%となっている。

手摘みてん茶	: 150%	はさみ摘みてん茶	: 256%
手摘み玉露	: 100%	はさみ摘み玉露	: 134%
煎茶	: 145%	かぶせ茶	: 174%